

郷土への愛着は情報から！

PDF・Wikipedia！

みんなで作るオープンデータ



Code for SUSONO (飯) の挑戦

2019/3/10

裾野市（市役所）からの地域課題



「あるもの磨き」で裾野を磨く！
裾野を磨いて、困りごとを解決！

おっと??
それが地域課題?? え??



磨くのは課題（目的）じゃなく手段・・・

テーマの本質を市役所に向う



テーマの「**本質**」って何？

市内に良いものがたくさんあるのに埋もれてしまっている。
この良いものを磨いて**魅力的なまち**にしていきたい

「**魅力的なまち**」って、どんな町？

そ、それは... チームで考えて取り組んでね♪
市役所は活動のプラットフォーム！ 一緒に頑張ろう！

...。もしかして**課題がわからない**？



市役所の「COGのワークショップ」に行って、課題を深堀することに

COGのワークショップにて...

課題はいったい何なのか？

課題の理解

COG2016 裾野市の課題

「シビックプライドの醸成」

課題は...

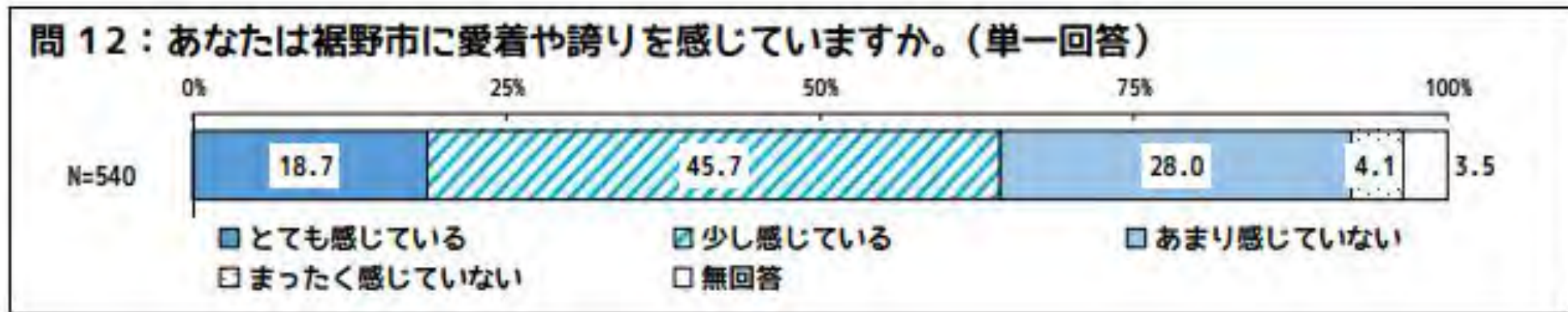
市民が裾野市に
愛着・誇りを抱くこと



そんなに
愛着ないの？

誇り・・・感じてないの？ こんな時はデータだ！

課題はいったい何なのか？



※引用：H29市民意識調査

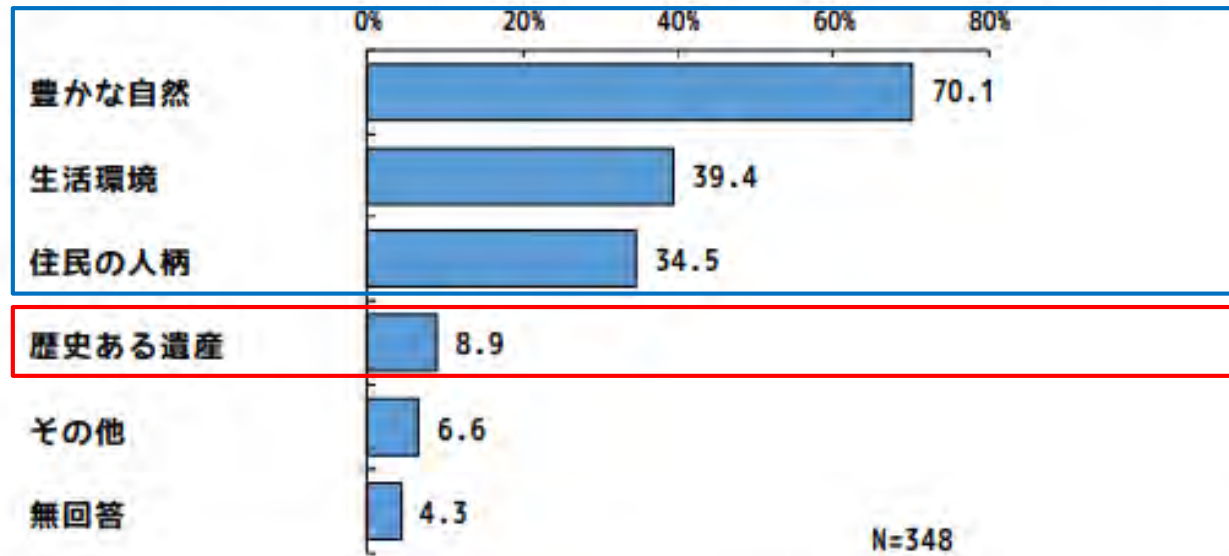
<http://www.city.susono.shizuoka.jp/shisei/12/3/7356.html>

64.4%は 多少の誇りが育っているようだけど…

課題はいったい何なのか？

問 13 : 【問 12 で「とても感じている」「少し感じている」を選んだ方】

あなたは裾野市のどのようなところに愛着や誇りを感じていますか。(複数回答可)



生活環境は高い

市内のモノや歴史の
愛着・誇りが薄い？

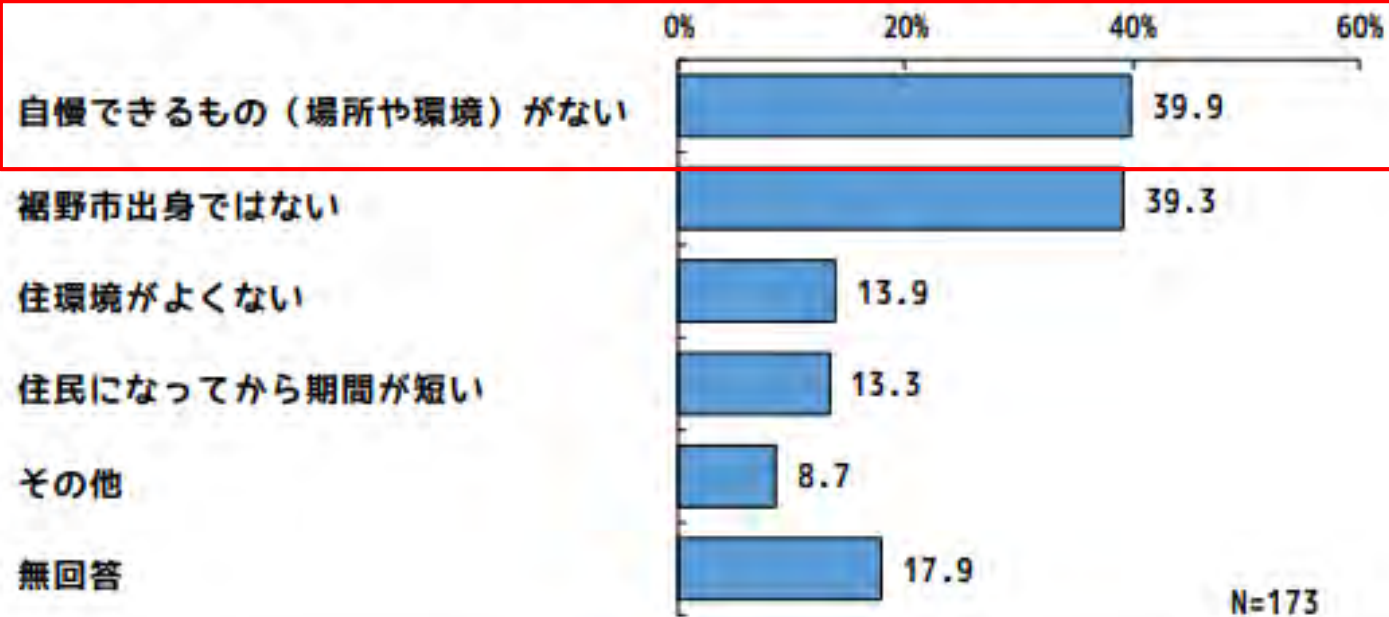
※引用：H29市民意識調査

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/shisei/12/3/7356.html>

自分の生活圏外の愛着・誇りが育っていない？

課題はいったい何なのか？

問 15：【問 12 で「あまり感じていない」「まったく感じていない」を選んだ方
あなたが愛着や誇りを感じていない理由は何ですか。（複数回答可）



本当は市内に
いっぱい
あるのに…

※引用：H29市民意識調査

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/shisei/12/3/7356.html>

どうやって愛着・誇りは醸成したらいいんだろ？

先行研究があった！

引地 博之・青木 俊明 著

「地域に対する愛着形成の心理過程の検討」 2005.12

▶ 地域愛着の形成において

- ▶ 地域に対する肯定的な認知から地域に対する肯定的な印象を形成
- ▶ 集団に対して肯定的な印象を持っている人は
土地や文化に対しても肯定的な印象を持っている傾向
- ▶ 「居住年数」が必ずしも愛着形成に大きな影響を与えない

「**肯定的な認知**」がポイント？

肯定的な認知…



今どきは 検索で何でもわかるさ！



探しても出てこない = 否定的な認知につながる

情報検索するサイトの調査

【WEB サイトランキング】 国内12位：

・ナレッジベース「Wikipedia」（出典：Similar Web 2018.12現在）

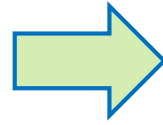
（百科事典としては国内第1位）

＜百科事典ジャンル＞一番利用されるのが【Wikipedia】

実際に検索してみるが…



情報
出てこないじゃん！



郷土情報に触れる
機会の損失

Wikipediaに記事を載せてみよう！

Wikipedia Town

その地域にある文化財や観光名所などの
情報をWikipediaに載せていく活動。

Code for ふじのくに（代表：市川博之氏）主催の
Wikipedia Townに参加して相談だ！



Wikipedia Townについて…



Code for
ふじのくに
市川 博之 代表

Wikipediaに記事を書くのは簡単！
だけど「出典」はしっかり載せなきゃだめじゃ！

“出典の明記”

出典は“信頼できる公刊された情報源を使用すべき”
出典先を誰でも参照し確認できる必要がある。

- ▶ 裾野市には
広報紙「**広報すその**」があるよね・・・ん？

古い広報紙が図書館にもネットにも無いやんけ！



課題から仮説に辿り着いた！

広報誌は…



みんなが見られる
状態じゃない



広報課の資料は
月日経ちボロボロ

情報として利用できない（出典にもできない）

知ることができない（肯定的な認知の減少）

愛着・誇りが育たない

おお！
繋がった！

どうやって解決しよう？

広報誌を…



みんなが見られる
(一般公開)



デジタル化で
劣化なく蓄積



OCR処理で
検索を容易に！

出典利用を可能にして
肯定的な認知用の情報へ広げる

工夫を追加して
付加価値をつける

まずは広報誌から、そして肯定的な認知につなげる！

取り組み イメージ

START

裾野市中央公園の
なりたちを知りたい!



WEBで検索!

目指すは

オンライン参加型百科事典

Wikipedia記事を掲載!

- ・日本で12番目に見られているサイト
- ・百科事典としては1位!
- ・誰でも記事が書ける
- ・相互にチェックするから記事の信頼性が高い

出典として活用可能!

取組1

デジタルデータ化&
オープンデータ化

取組2

Wikipedia 記事化!

公開されている資料...

裾野市の広報紙を
出典として...しかし、
見られない古い広報紙もある

ポロポロ...
図書館にない...

ただし!
出典が必須

- ・ただ知っていることを書けばいい訳ではない
- ・公開されている資料を参照し、
出典として明記する必要がある

肯定的なインプット
情報

肯定的なインプットとして

情報が無いから
郷土への愛着が育ちにくい

理由

- ・知る機会を失う
- ・情報が「無いもの」認識
- ・そして無関心へ...

BAD END

Viva 中央公園!
Viva 裾野市!

中央公園ってなんだか
わからなかったなあ

HAPPY END



郷土への愛着を育てる
養分になる!

肯定的なインプットに

情報

今回の
チームの
取組範囲

解決手段検討

実際に何をやっていこうか？

Step1



広報誌の
PDF化

Step2



広報誌をもとに
地域情報を掲載

活動プランの効果予想

活動プラン

先ほどの論文より...

直接的影響



人々の関わり方や
行政の取組姿勢

補助的影響



祭り・イベントや
美しい景観

- ▶ データ化やWikipediaの取り組みも「みんな」で取り組むことで「単なる情報源」から「自分事」に進化できる！

直接的影響をあたえる活動で効果が出せそうだ！

直接的影響をあたえる「行政」は…



- ▶ 「行政の取組姿勢」 大事だよね！
 - ▶ 取り組みのきっかけ作り
 - ▶ Code for ふじのくに との協力体制
 - ▶ イベント設定
 - ▶ 会場手配
 - ▶ 機材準備
 - ▶ 各種PR、広報活動

実は、活動も、全部一緒に取り組みました！

結果その1 広報の電子化

活動結果

▶ 広報すその 創刊（昭和31年） ～平成29年まで（1352号分）のPDF化

（OCR済）が完成（途中喪失号がちょこっとあります）



ほとんどの電子化・OCR処理が完了！

「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

静岡県
Susono City

裾野市

[本文へ](#)

Select Language

文字サイズ変更

あ

あ

背景色変更

黒

青

白

Google カスタム検索

Q

[市の組織](#)
[よくある質問](#)
[お問い合わせ](#)

くらし・手続き

子育て・教育

健康・福祉

観光・文化・スポーツ

まちづくり・建築

産業・ビジネス

市政情報

現在の位置

[裾野市公式ウェブサイト](#)
>
[市の組織](#)
>
[企画部](#)
>
[戦略広報課](#)
>
[広報・広聴](#)
>
[広報紙『広報すその』](#)
>
[過去の広報紙](#)

過去の広報紙

広報すその(町報すその)の創刊からのデジタルアーカイブです。

市役所で保管している全ての既刊の広報紙をデジタルデータ化しオープンデータ(ライセンス:CC BY 4.0)として開放します。

[『広報すその』平成24年度\(2012年度\)発行号\(PDF:128.6MB\)](#)

[『広報すその』平成23年度\(2011年度\)発行号\(PDF:182.3MB\)](#)

[『広報すその』平成22年度\(2010年度\)発行号\(PDF:174.7MB\)](#)

過去の広報紙

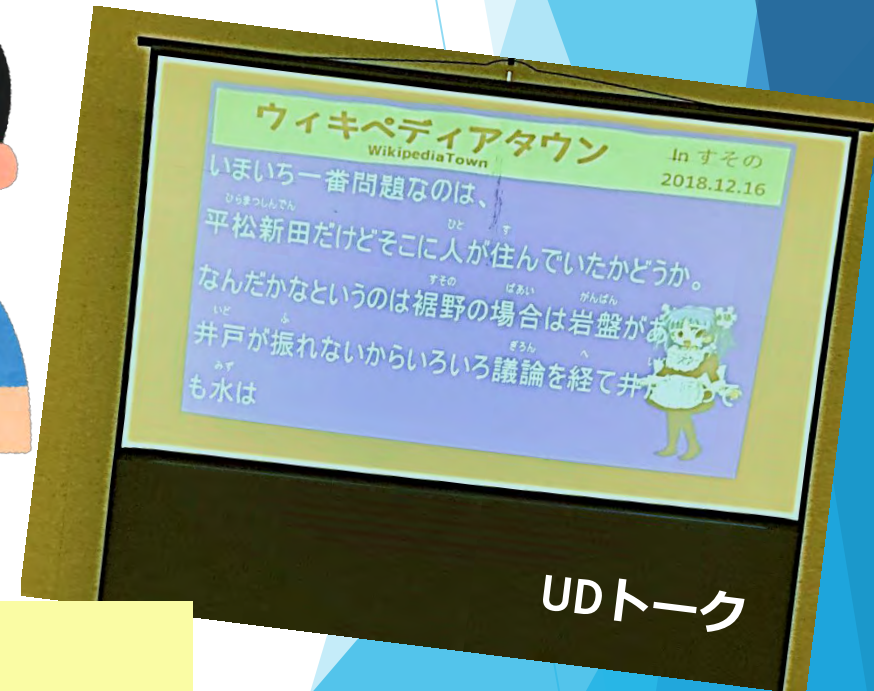
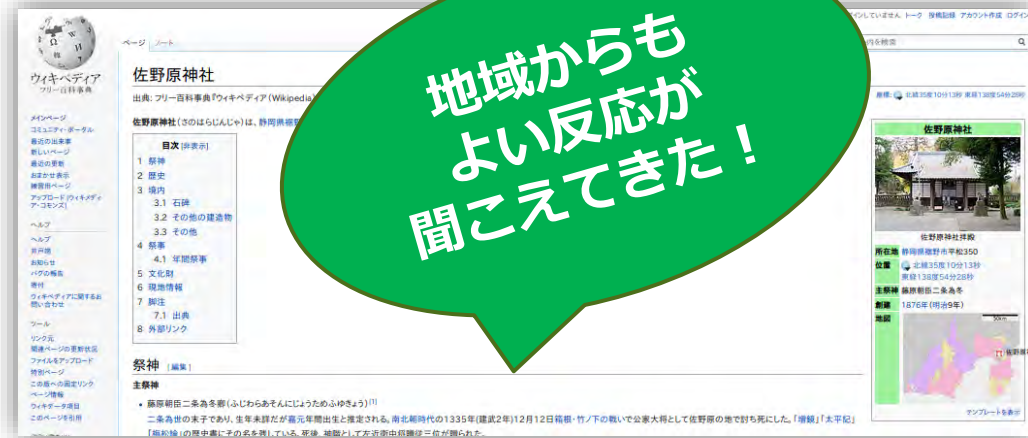
[過去の広報紙](#)

CC BY 4.0 で公開開始！

結果その3 Wikipedia Town南佐

- ▶ デジタル化した広報紙をもとにWikipedia Townを実施。
 - ▶ 資料確認、現地調査、UDトークで口伝をテキスト化
- ▶ **記事が完成**（佐野原神社、裾野市中央公園...）

活動結果



記事は着々ふえてます！

結果その3 Wikipedia Town南佐

活動結果

実は...

この発表中も裾野にいるメンバーが
記事を更新しています！



継続した活動につながられました

結果その4 地縁を巻き込んだ仲間の構築

- ▶ 取り組んだメンバーの強い絆と連帯感とLINE・FaceBookグループ



人の輪がどんどん
ひろがっています！

地域愛着の形成における一番大切な
良質な「人々の関わり」を手に入れました！



<https://ja.facebookbrand.com/assets/「f」ロゴ/>
<https://line.me/ja/logo>

では、課題は解決したのか？

- ▶ 少なくとも、関わった皆さんの愛着・誇りは増えた！
- ▶ 一方で、まだまだやれることはある



Code for
ふじのくに
市川 博之 代表

記事を書いたら
中身・出典の
精度も高めよう！



記事の増加と
中身の充実



無理なく楽しい
継続的な活動



地域の皆さんを
巻き込んでいく

これからも積極的な行動で 地域の愛着・誇りの拡大を目指し、
オープンガバナンスの実現をめざしていく

裾野市の提出課題

「あるもの磨き」で裾野を磨く！

裾野を磨いて、困りごとを解決！

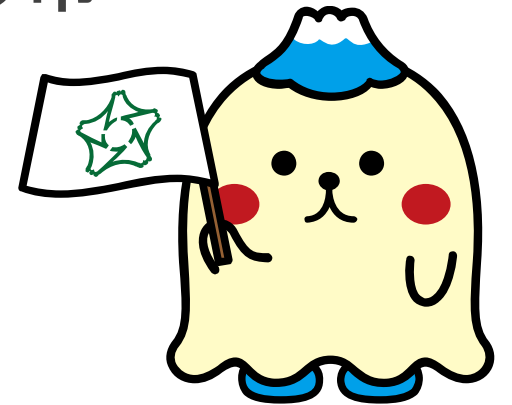


→ 解決して欲しい課題になっていないって



裾野市の提出課題の真意1

- 自治はオープンガバナンスで取り組む時代。
- 市役所が総花的に言っている課題は**本当に課題？** みんなで決めようよ。もちろん市役所も一緒さ！



→ 課題は地域にある。直面する課題をみんなで見直す

裾野市の提出課題の真意2

- オープンガバナンスにはオープンデータ・EBPMなどの共通言語が必要。それを使って課題から一緒に決めることに意義がある！ のでは？
- 地域課題の解決方法として、“裾野らしさ”をプラスアルファするために「地域資源」の“あるもの”を磨いてトッピング



→ 裾野の課題解決には、裾野らしさが必要不可欠

市役所はきっかけ作り

- COG取り組みチームの一つとなるべく、
初回イベントを開催（職員有志の自主研究グループ）

チーム結成！
参加者みんなで課題決定
取り組み開始！

この後の流れはチーム発表のとおりです。



提供したデータ

データ名	データ形式	公開状況
広報すその 60号～1371号※ ※H31.2.15現在	紙媒体 PDFデータ	当初提供 (オープンデータとして 開放していないものを含む)
広報すその 創刊～60号まで	紙媒体	未公開 (チームからの要望)



→ チームのニーズから新しい気づき・発見も！



コミュニケーション

《対面でのコミュニケーション》



No.	イベント名	実施日	人数	取り組み内容
1	広報紙のデジタルデータ化1	11/13	9	課題設定、広報紙のPDF化、OCR処理、ミスチェック、不足データの確認
2	広報紙のデジタルデータ化2	11/28	11	不足データのデータ化、Wikipedia記事にするかを話す
3	Wikipedia Town & まとめ	12/16	12	Wikipedia Town(資料収集・現地調査・広報紙確認)、まとめ

《SNSでのコミュニケーション》

➤ オンラインでのコミュニケーション (LINEやFacebook) をフル活用

→ とともに考え、ともにつくる！

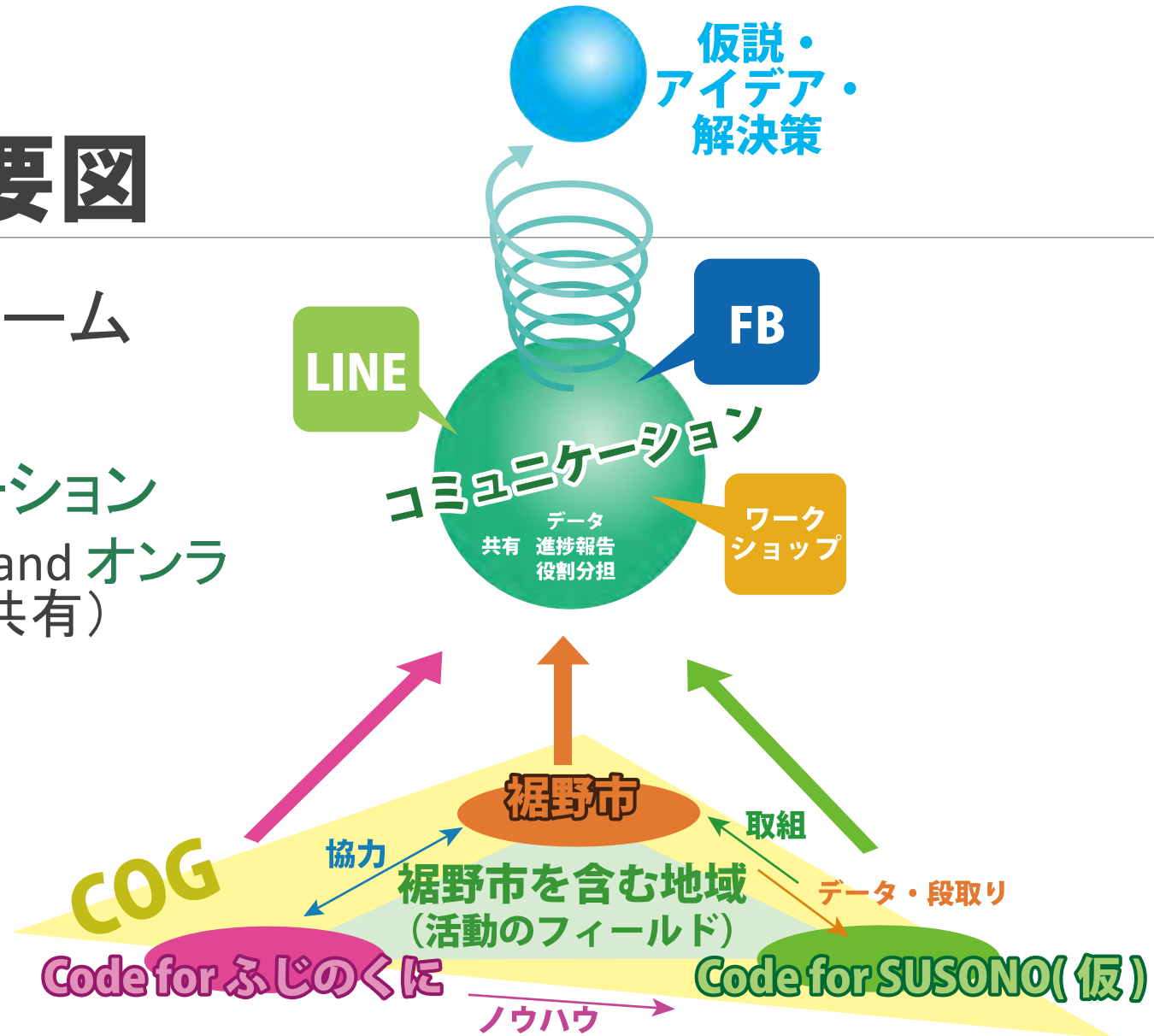


SUSONON

裾野市

連携・サポート概要図

- COG・・・プラットフォーム
- 地域・・・フィールド
- 柔軟なコミュニケーション
 - イベント(対面作業) and オンライン(敏速性・データ共有)



サポート？ いえ。一緒に取り組む仲間です！



1. COG概要説明（ここだけ市役所からの
インプット）
2. 仮説、取組の共有
3. アイデアのヒント提供（Wikipedia化、
Open Street Map）
4. 紙データのデジタル化、OCR処理
5. Wikipedia Town実施
6. 広報紙オープンデータ化



→ チームメンバーも市役所も同じフィールドのプレーヤー

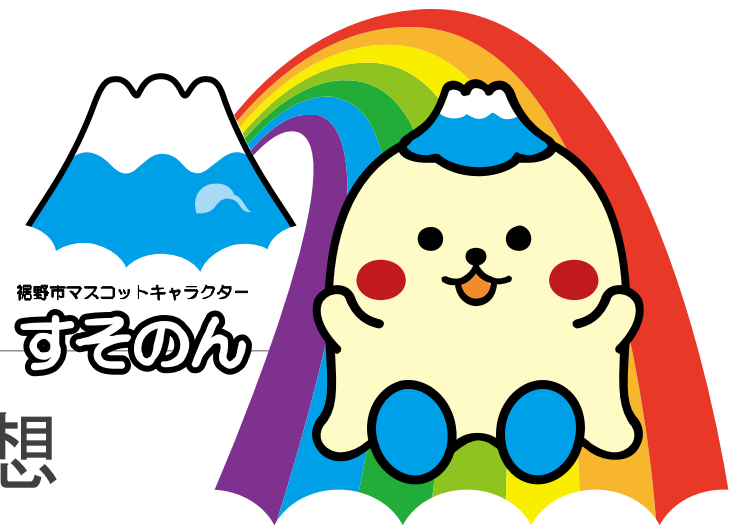
その後 と これから

- 継続的にWikipedia更新中！
- デジタルアーカイブの推進
 - 裾野市史 > デジタルデータ化完了！
 - 今後、オープンデータとして解放する予定
 - 他にも古い写真あるなあ
 - 近隣市町の取り組みと連携したい



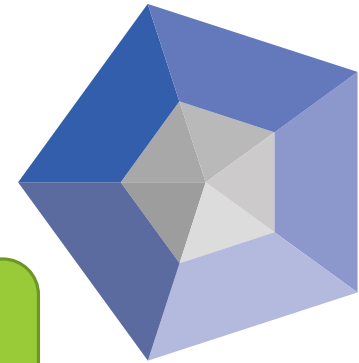
→ ともに考え、ともにつくる！（2回目）

オープンガバナンスへの挑戦！



- 市は、市民の「これがやりたい！」という想いに応える
- Code for SUSONO(仮)を含めた市民とともに、データ・デジタル・デザイン(3つのD)を利活用して、市民にとっての真の課題解決に取り組む

→ 裾野はデータ利活用を一緒に取り組む体制があるよ！



裾野市
データ
利活用
推進本部